

[普及事項]

新技術名：簡易被覆トンネル栽培によるブドウ「シャインマスカット」の果実品質向上
(平成24年)

研究機関名 果樹試験場 特産果樹部
担当者 船山瑞樹

[要約]

ブドウ「シャインマスカット」は簡易被覆トンネル栽培を行うことにより、慣行の露地栽培の果房より着粒数が増加し、果房重は約100g重くなる。

[普及対象範囲]

県内ブドウ生産者及び新規参入者

[ねらい]

本県のブドウ栽培はX字型自然形長梢剪定栽培法が主流で、そのほとんどが露地栽培で作られており、「シャインマスカット」も例外ではない。しかし、「シャインマスカット」の露地栽培では着粒や果粒の肥大が悪く、果房が小さいため、商品性が劣り市場競争力が低下する。そこで、露地栽培のX字型自然形長梢剪定樹の一部分に簡易被覆トンネルを設置し、果実品質向上効果を明らかにする。

[技術の内容・特徴]

1. 温度計測開始日から収穫日（6月28日～10月5日）までの果房近辺の平均最高温度は、被覆区が32.4℃、露地区が31.5℃で、被覆区のほうが約1℃高く、最高温度の積算値では被覆区が露地区よりも82℃高い（図1）。
2. 摘粒時の果房（着粒数約100粒）の正常果粒（果粒肥大が良好で果形が正常なもの）率は、被覆区は93%、露地区は77%で、被覆区のほうが高い（図2）。
3. 果実品質は、被覆区のほうが果房重、果房長、1粒重が優れ、簡易被覆をすることで県の生産目標である果房重500g、1粒重12g、糖度18%を達成できる（表1）。

[成果の活用上の留意点]

1. 露地栽培では天候不順年は花ふるい（結実不良）となり、摘粒時の正常果粒率は40%程度まで低下することがある。
2. X字型自然形長梢剪定樹の平棚に簡易被覆トンネルを設置する場合は、被覆下に結果母枝を効率よく配置できるよう、整枝・剪定を工夫する。

[具体的なデータ等]

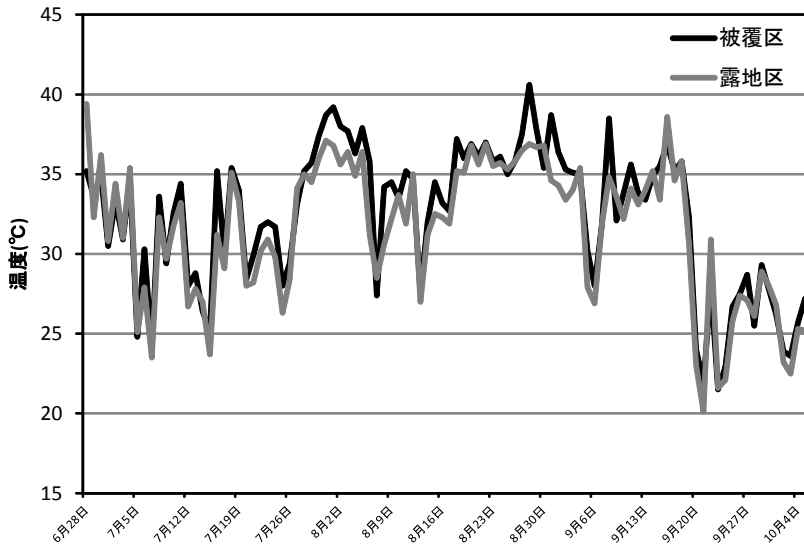


図1 果房近辺の最高温度の推移(2012年)

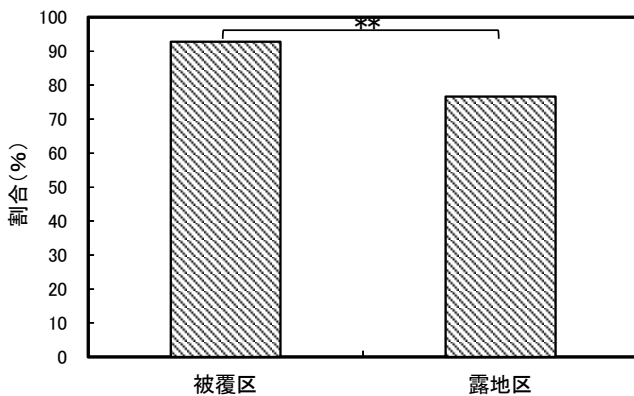


図2 摘粒時(7月19日)の正常果粒割合
(2012年、角変換後に検定
**はt検定で1%レベルで有意差あり)

表1 果実品質 (2012年10月5日収穫、調査)

区	果房重 (g)	果房長 (cm)	果皮色 ^z (c.c)	着粒数 (個)	1粒重 (g)	糖度 (%)	酒石酸 (%)
被覆区	559	17.9	3.4	44.8	12.1	20.5	0.237
露地区	446	16.5	3.8	42.2	10.3	20.8	0.206
t検定 ^y	**	**	*	ns	**	ns	**

^z秋田県版シャインマスカット専用カラーチャート(指数1~6)

^y**は1%レベル、*は5%レベルで有意差あり

試験方法及び栽培条件

供試樹は「シャインマスカット」/テレキ5 BB 6年生 X字型自然形長梢剪定樹2樹
簡易被覆トンネル(間口150cm)は主幹を含む主枝延長方向に2樹連続して1列のみ設置
被覆期間は5月29日~10月22日
温度センサーは果房近辺に設置し、1時間毎に温度を計測
供試果房は被覆区は簡易被覆トンネル下の果房を、対照区は露地部分の果房とした
供試果房数は1区10果2反復
ジベレリン(25ppm)処理は2回行い、いずれにもホルクロールフェニユロン5ppmを加用
着果量は1新梢当たり0.7果に調整
その他慣行

[発表論文等]